

会員が主役の支部活動をすすめましょう

さかいわ支部ニュース

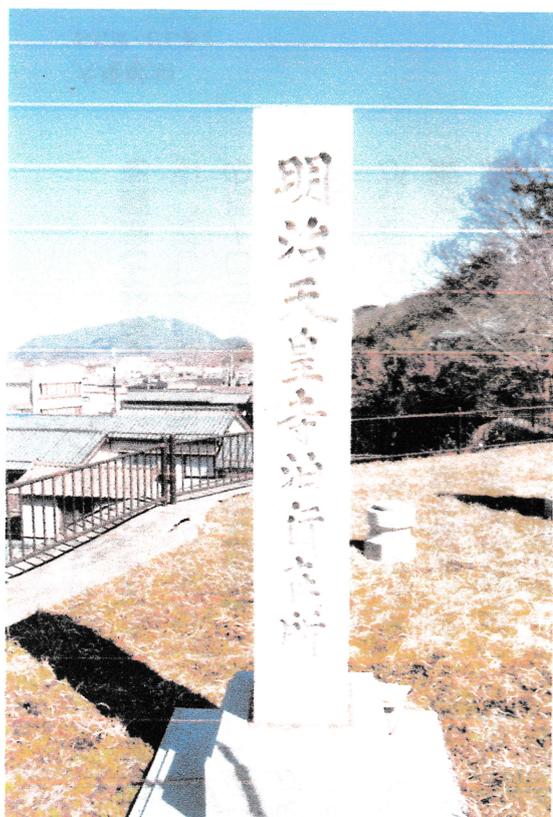
さかいわ 坂井輪 仲間の輪

2021年7月 NO.182

さかいわ支部長 渡辺 豊 (小新西)

新潟勤労者医療協会 坂井輪総支部

文月 積善之家必有余慶



今月も陣屋、代官所です。寺泊の周辺が村上藩の領地になったのは慶安4年(1651)です。村上藩は寺泊の町に代官の陣屋、西と東の2箇所の代官役宅を設置しました。写真左は寺泊陣屋跡です。高台に有り、明治11年明治天皇北陸巡幸の折に、昼食休憩の場所と

なりました。寛保元年(1741)には領地替えにより村上藩から白河藩の代官陣屋となりました。文政6年(1823)には白河藩松平家が桑名へ移封となり、代官陣屋や役宅は廃止されました。写真右は西の代官役宅跡です。貞享4年(1687)に廃止され、浄土真宗の寺院、興琳寺になりました。今まで見てきたように県内には多くの代官所や陣屋跡があります。江戸時代の越後はたくさんの藩や幕府領、旗本領に細分化され統治されてきた事がわかります。

昔訪ねた旧家の家の扁額に有りましたので書いてみました。易経にある「積善の家には必ず余慶あり」です。善行を積み重ねた家には、子々孫々に至るまで、必ず幸いが訪れる。よい行いをしていればよい報いがあるとの意味です。日々の生活の中で意識するのは、なかなか難しいことです。令和3年の今年是中国の古典をひもといています。

※ さかいわ支部では予定した支部総会を現在のコロナ禍の状態では開催できないと判断し、今年も中止とし、前年度の運営委員で運営します。尚、支部の運営に協力できる方は是非お申し出下さい ※

裏面に民医連の月刊誌「いつでも元気」の記事「お金をかけない健康法」を転載しました。皆さん「いつでも元気」誌を読んでみませんか。見本誌は渡辺か友の会事務局へ。